



<h2 style="text-align: center;">月度個人山行報告書</h2>			報告者	長島博美	参加メンバー	CL: 山田 明 SL: 亀山 誠、藤田 健治、町田 修、江頭 孝治、肥後 徳仁、長島 博美
			報告日	'05 12/14		
山域		山行日	2005年12月03日			
山名	御嶽山					
山行目的	雪上訓練		コースタイム(天候: 天気図記号) 晴れ時々雪			

配布先	ルート図(地図を見て正確に)			12月3日 5:30 起床 7:05 出発 8:25-39 1本 9:48-10:00 ロープウェイ 終点 7合目 11:30-40 1本 12:30 女人堂 13:50 滑落停止訓練 14:00 ビーコン操作確認 15:45 訓練終了 16:45 撤去終了、 女人堂発 18:45 下山 ロープウェイ駅
集会:12	概念図 			
山行: 1				
リーダー				
原紙: 集会担当者				

12月2日夜刈谷発。御嶽山ふもとでは小雪が舞っていた。テント設営後、就寝。8人用のテントであったが7人でも少々狭く感じられた。

12月3日、5時半起床。外はまだ暗く、まだ寒かった。各自朝食を摂り、共同装備を分配、準備を整え駐車場を7時5分発。下の方は積雪は2、3センチほどだったが、上に行くにつれ膝下くらいになった。亀山さんトップでラッセル。その後町田さんがラッセル。ロープウェイ終点着後、登山道を進むということで女人堂までを江頭さんと肥後さんトップで進んだ。二人とも歩調良く登っていった。とりわけ肥後さんのペースが非常に良く、足の遅い私は全体のペースを乱し通して申し訳なく感じた。

12時半に女人堂に着き、テント設営後訓練を始める。耐風訓練、滑落停止訓練後、ビーコン操作確認を行った。ビーコンの装着方法、操作方法などを確認後、一つ隠し、他のビーコンで居場所を探すという練習を行った。

訓練終了後、テン場に帰るとテントのポールが折れ、テントを突き抜けているのを発見。修復を試みるが強風の為、藤田部長より下山が決定され、テント撤去。出発後しばらくして日は沈み、星空の下、小雪の中を懐中電灯で足元を照らしながらではあったが、全員無事に下山できた。

フリースペース：
 雪に慣れていない私は、短時間で体力を消耗した。男性の歩幅は広く、合わせると体のバランスを崩し、ザックも左右に振られ、また傾斜が急であればあるほど早く疲労したので、冬合宿までにトレーニングを工夫し、出来る限り皆のペースを崩さないよう努力したい。(長島)

確認(リーダー)	
山田 明 05/12/14	リーダー所見
作成報告者)	今回、テントの破壊により、御嶽の頂上に到達出来なかったのは残念だったが、冬山の厳しさを体感することが出来た。また、ビーコンの訓練など新しい訓練が出来たので、有意義な雪上訓練であったと思います。
長島博美 05/12/9	